ねぶた

池田まき子・文
水野ぷりん・絵
竹浪比呂央・監修

ラッセラー！ ラッセラー！
ラッセ、ラッセ、ラッセラー！
なんという熱気だろう。
人、人、人、みんなが見ている。
私も、彼らをぐるりと見返す。
私はねぶた。
これは、私の祭り。

ラッセラー！　ラッセラー！
ラッセ、ラッセ、ラッセラー！
ハネトが踊る。

私を守り導きながら、
ハネトがはねる。
全身をバネのようにして
はねる、とぶ、はねる、とぶ。

いよいよ、面だ。
ねぶた師と向かい合う。
手には、墨をたっぷりと含んだ筆。
目を閉じる。
深い息をして、呼吸を整える。

私は誘う。
よし、来い！
筆が舞う。
眉、目、鼻、口、そして、目玉。
墨が染み込んでくる。
ああ、見える、見える。
魂が吹き込まれた！